

75歳以上人口増減率と15-74歳人口増減率による 区分ごとの状況

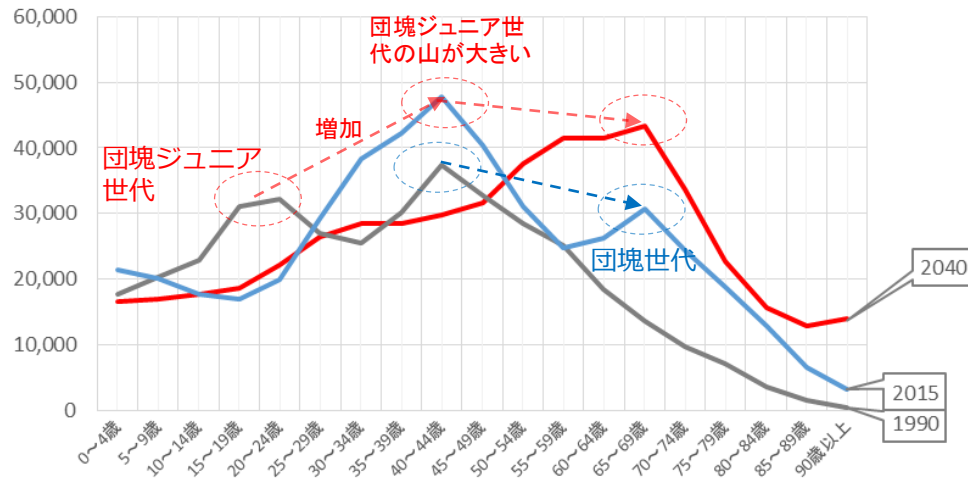
①15～74歳人口(0～25%)、75歳以上人口(25～50%)

- 特別区の最多エリア(6団体)。11団体中町村が4団体。
- A区・B町では、近年開発が進み、団塊ジュニア世代が増加。団塊の世代の山は小さい。今後も人口増が継続。
- 団塊ジュニア世代の高齢化に伴い、高齢者は増加するが、年少人口・生産年齢人口の変化が緩やかであるため、年齢構成の変化は緩やか。75歳以上人口の割合の上昇は数%。 ※該当する団体の75歳以上人口の割合の変化(2040-2015):1~4%
- 短期的なニーズの増加により小中学校や公共施設の新設が必要になるケースも。タワーマンションなど人口急増地区ではコミュニティの形成が課題となるか。これまで比較的ニーズが少なかった高齢者福祉への対応が必要となるか。

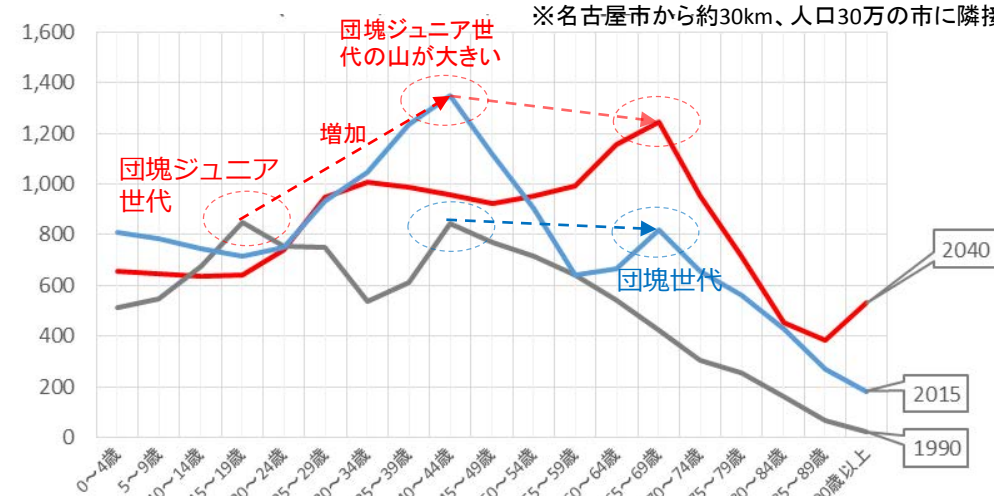
A区	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	384,904	-	498,109	-	578,684	-	113,205	29.4	80,575	16.2
0-14歳	60,937	15.8	62,350	12.5	70,309	12.1	1,413	2.3	7,959	12.8
15-64歳	287,907	74.8	329,898	66.2	364,460	63.0	41,991	14.6	34,562	10.5
65歳以上	36,060	9.4	105,861	21.3	143,915	24.9	69,801	193.6	38,054	35.9
うち65-74歳	23,337	6.1	58,914	11.8	78,367	13.5	35,577	152.4	19,453	33.0
うち75歳以上	12,723	3.3	46,947	9.4	65,548	11.3	34,224	269.0	18,601	39.6
15-74歳	311,244	80.9	388,812	78.1	442,827	76.5	77,568	24.9	54,015	13.9

B町	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	9,988	-	14,752	-	16,624	-	4,764	47.7	1,872	12.7
0-14歳	1,738	17.4	2,364	16.0	2,291	13.8	626	36.0	▲73	▲3.1
15-64歳	7,018	70.3	9,637	65.3	10,236	61.6	2,619	37.3	599	6.2
65歳以上	1,232	12.3	2,751	18.6	4,097	24.6	1,519	123.3	1,346	48.9
うち65-74歳	728	7.3	1,441	9.8	2,181	13.1	713	97.9	740	51.4
うち75歳以上	504	5.0	1,310	8.9	1,916	11.5	806	159.9	606	46.3
15-74歳	7,746	77.6	11,078	75.1	12,417	74.7	3,332	43.0	1,339	12.1

東京都A区の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))



三重県B町の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))



②15～74歳人口(0～▲25%)、75歳以上人口(75～100%)

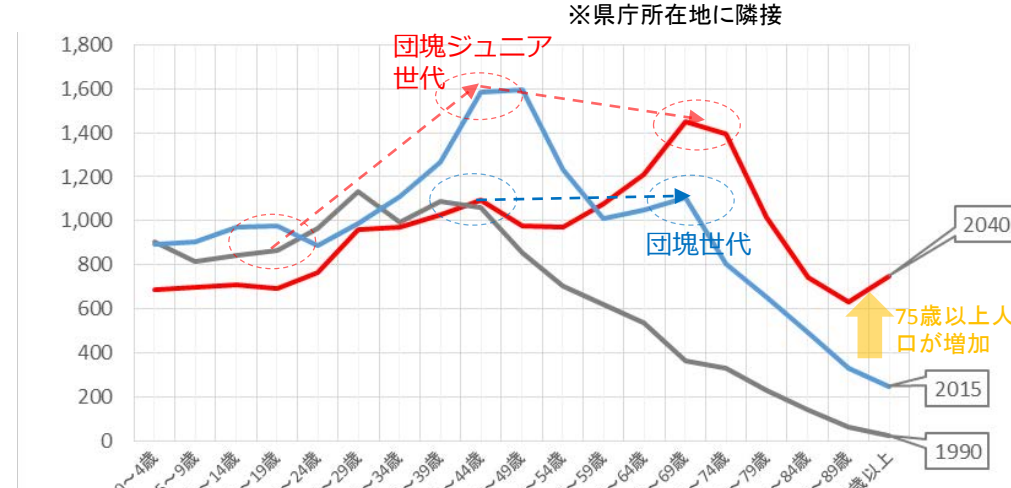
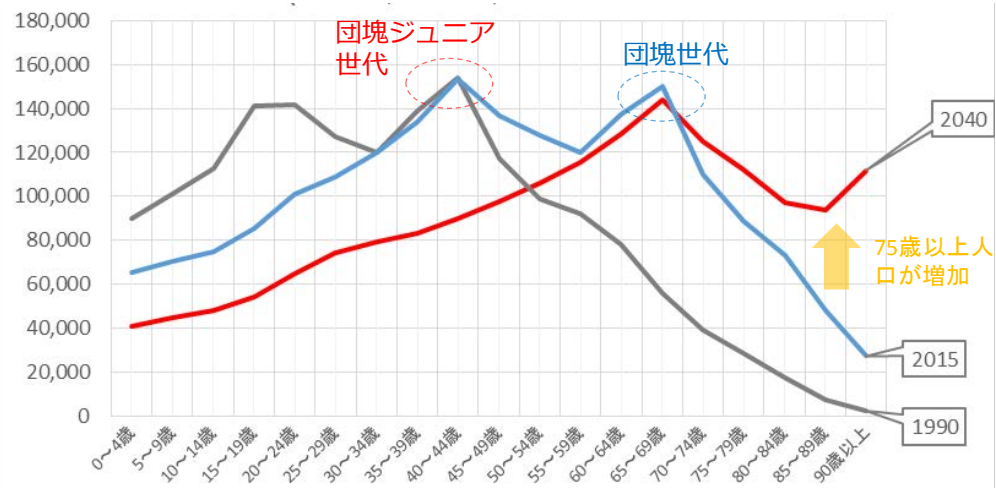
- これまで人口が増加してきたブロック拠点都市やベッドタウンなど。約半数の団体は昼夜間人口比率が90%を下回る。
- C市・D町では、今後人口減少局面へ転じる。年少人口、15～74歳人口は減少する一方、これまで少なかった75歳以上人口が引き続き急増し、75歳以上人口の割合が増加。大都市の75歳以上人口の増加数が大きい。
※該当する団体の人口増減率:8～▲18%(4分の3の団体は減少) 0～14歳人口は1団体を除き減少
- 人口増加が止まり、15～74歳人口が減少することに伴う活力の低下、小中学校における児童・生徒数の減少、高齢者への医療・介護サービスの提供(量的なサービスの確保、専門職の確保等)が課題となるか。
- 車通勤が多いベッドタウンでは、高齢者の増加に対応した公共交通網の確保も課題となるか。

C市	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	1,665,169	-	1,952,356	-	1,870,991	-	287,187	17.2	▲81,365	▲4.2
0-14歳	303,690	18.2	221,515	11.3	175,811	9.4	▲82,175	▲27.1	▲45,704	▲20.6
15-64歳	1,209,426	72.6	1,244,321	63.7	990,995	53.0	34,895	2.9	▲253,326	▲20.4
65歳以上	152,053	9.1	486,520	24.9	704,185	37.6	334,467	220.0	217,665	44.7
うち65-74歳	95,411	5.7	259,825	13.3	288,443	15.4	164,414	172.3	28,618	11.0
うち75歳以上	56,642	3.4	226,695	11.6	415,742	22.2	170,053	300.2	189,047	83.4
15-74歳	1,304,837	78.4	1,504,146	77.0	1,279,438	68.4	199,309	15.3	▲224,708	▲14.9

D町	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	12,548	-	19,505	-	18,545	-	6,957	55.4	▲960	▲4.9
0-14歳	2,563	20.4	3,069	15.7	2,419	13.0	506	19.7	▲650	▲21.2
15-64歳	8,821	70.3	12,509	64.1	9,938	53.6	3,688	41.8	▲2,571	▲20.6
65歳以上	1,164	9.3	3,927	20.1	6,188	33.4	2,763	237.4	2,261	57.6
うち65-74歳	696	5.5	2,082	10.7	2,760	14.9	1,386	199.1	678	32.6
うち75歳以上	468	3.7	1,845	9.5	3,428	18.5	1,377	294.2	1,583	85.8
15-74歳	9,517	75.8	14,591	74.8	12,698	68.5	5,074	53.3	▲1,893	▲13.0

北海道C市の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))

山梨県D町の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))



③ 15～74歳人口(▲25～▲50%)、75歳以上人口(0～25%)

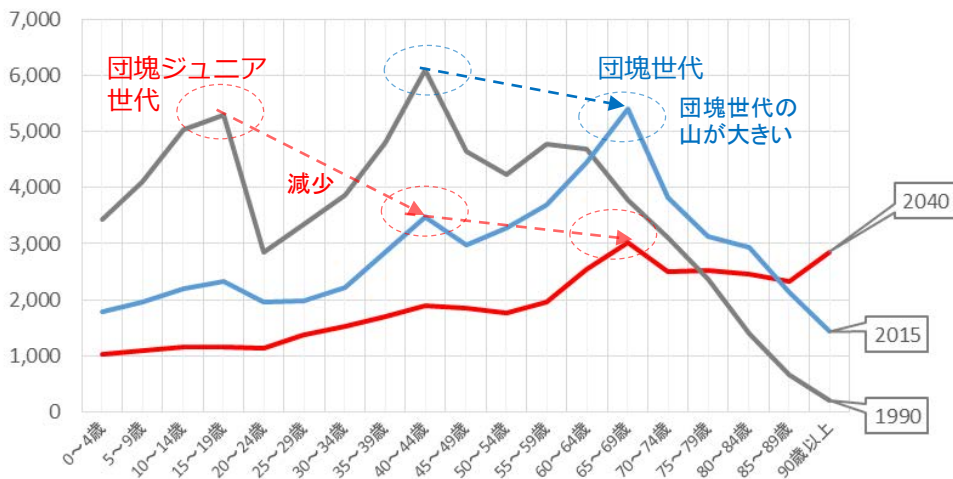
- 一般市、町村の最多エリア。5分の1の市町村が該当。中核市の一部(4団体)も該当。
- E市・F町では現在、団塊の世代の山が大きく、かつて多く居住していた団塊ジュニア世代は既に減少。団塊の世代の山が大きかったため、一定の人口が維持されてきたが、急増してきた75歳以上人口の増加も鈍化し、今後人口減少が加速する。
※該当する団体の人口減少率: ▲17～▲44%
- 人口減少に伴う生活関連サービスの維持、小中学校における児童・生徒数の減少(約3分の2の団体は、0～14歳人口が4割以上減少)、15～74歳人口の減少による税収への影響、公共施設の維持管理等が課題となるか。

E市	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	68,662	-	55,325	-	39,713	-	▲ 13,337	▲ 19.4	▲ 15,612	▲ 28.2
0-14歳	12,552	18.3	6,117	11.1	3,859	9.7	▲ 6,435	▲ 51.3	▲ 2,258	▲ 36.9
15-64歳	44,591	64.9	30,001	54.2	18,835	47.4	▲ 14,590	▲ 32.7	▲ 11,166	▲ 37.2
65歳以上	11,519	16.8	19,207	34.7	17,019	42.9	7,688	66.7	▲ 2,188	▲ 11.4
うち65-74歳	6,886	10.0	9,538	17.2	6,150	15.5	2,652	38.5	▲ 3,388	▲ 35.5
うち75歳以上	4,633	6.7	9,669	17.5	10,869	27.4	5,036	108.7	1,200	12.4
15-74歳	51,477	75.0	39,539	71.5	24,985	62.9	▲ 11,938	▲ 23.2	▲ 14,554	▲ 36.8

F町	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	27,510	-	23,882	-	16,682	-	▲ 3,628	▲ 13.2	▲ 7,200	▲ 30.1
0-14歳	5,455	19.8	3,101	13.0	1,779	10.7	▲ 2,354	▲ 43.2	▲ 1,322	▲ 42.6
15-64歳	17,316	62.9	13,584	56.9	7,887	47.3	▲ 3,732	▲ 21.6	▲ 5,697	▲ 41.9
65歳以上	4,739	17.2	7,197	30.1	7,016	42.1	2,458	51.9	▲ 181	▲ 2.5
うち65-74歳	2,856	10.4	3,200	13.4	2,516	15.1	344	12.0	▲ 684	▲ 21.4
うち75歳以上	1,883	6.8	3,997	16.7	4,500	27.0	2,114	112.3	503	12.6
15-74歳	20,172	73.3	16,784	70.3	10,403	62.4	▲ 3,388	▲ 16.8	▲ 6,381	▲ 38.0

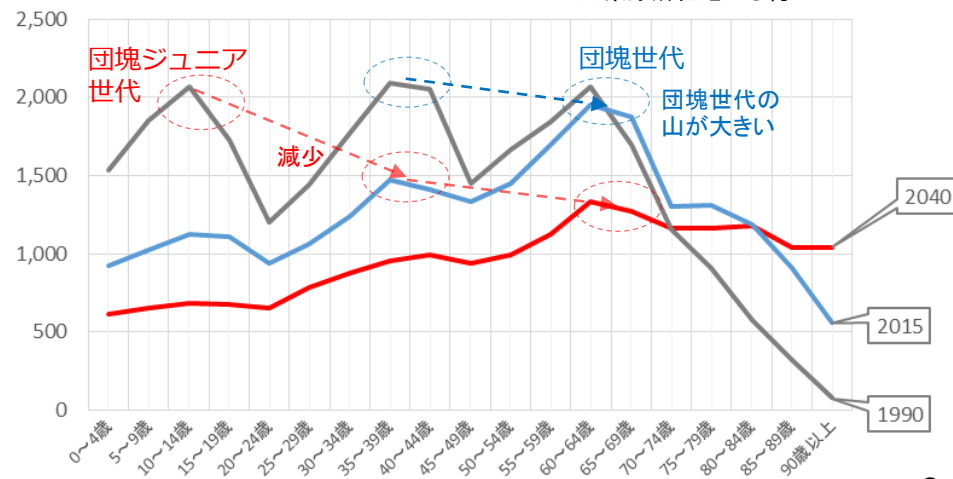
石川県E市の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))

※県庁所在地から約60km



山形県F町の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))

※県庁所在地から約30km



出典: 総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30.3)」から作成

④ 15~74歳人口(▲50~▲75%)、75歳以上人口(50~75%)

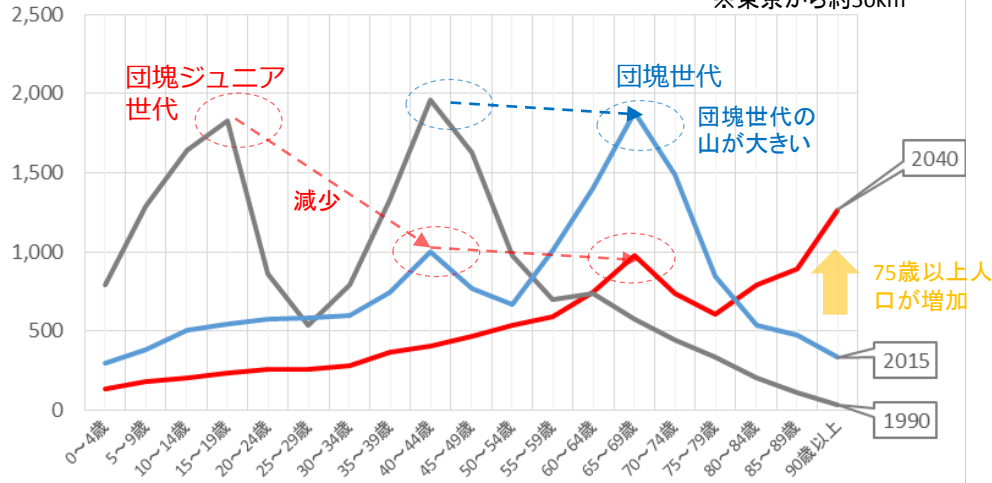
- 都心から離れた郊外のベッドタウンなど。7団体全て、昼夜間人口比率が100%を下回る。
- G町・H町では、団塊の世代の山が大きく、かつて多く居住していた団塊ジュニア世代は既に減少。年少人口、15~74歳人口が大きく減少し、今後人口減少が急速に進む一方、75歳以上人口は急増し、75歳以上人口の割合が急増。年少人口の割合は極めて小さくなる。 ※該当する団体の人口減少率: ▲38~▲48% 0~14歳人口の割合(2040): 4~7% 75歳以上人口の割合(2040): 32~45%
- 人口減少に伴う生活関連サービスの維持、小中学校における児童・生徒数の減少、通勤者の減少による税収への影響、高齢者への医療・介護サービスの提供(量的なサービスの確保、15~74歳人口の減少による専門職の確保等)、人口急増期に集中的に整備した公共施設・インフラの老朽化、公共施設の維持管理等が課題となるか。

G町	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	16,803	-	14,338	-	8,638	-	▲ 2,465	▲ 14.7	▲ 5,700	▲ 39.8
0-14歳	3,721	22.1	1,153	8.0	369	4.3	▲ 2,568	▲ 69.0	▲ 784	▲ 68.0
15-64歳	11,365	67.6	7,600	53.0	2,968	34.4	▲ 3,765	▲ 33.1	▲ 4,632	▲ 60.9
65歳以上	1,717	10.2	5,585	39.0	5,301	61.4	3,868	225.3	▲ 284	▲ 5.1
うち65-74歳	1,020	6.1	3,364	23.5	1,628	18.8	2,344	229.8	▲ 1,736	▲ 51.6
うち75歳以上	697	4.1	2,221	15.5	3,673	42.5	1,524	218.7	1,452	65.4
15-74歳	12,385	73.7	10,964	76.5	4,596	53.2	▲ 1,421	▲ 11.5	▲ 6,368	▲ 58.1

H町	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	21,336	-	22,054	-	12,486	-	718	3.4	▲ 9,568	▲ 43.4
0-14歳	4,742	22.2	2,360	10.7	535	4.3	▲ 2,382	▲ 50.2	▲ 1,825	▲ 77.3
15-64歳	14,868	69.7	12,332	55.9	3,915	31.4	▲ 2,536	▲ 17.1	▲ 8,417	▲ 68.3
65歳以上	1,726	8.1	7,362	33.4	8,036	64.4	5,636	326.5	674	9.2
うち65-74歳	1,057	5.0	3,943	17.9	2,728	21.8	2,886	273.0	▲ 1,215	▲ 30.8
うち75歳以上	669	3.1	3,419	15.5	5,308	42.5	2,750	411.1	1,889	55.3
15-74歳	15,925	74.6	16,275	73.8	6,643	53.2	350	2.2	▲ 9,632	▲ 59.2

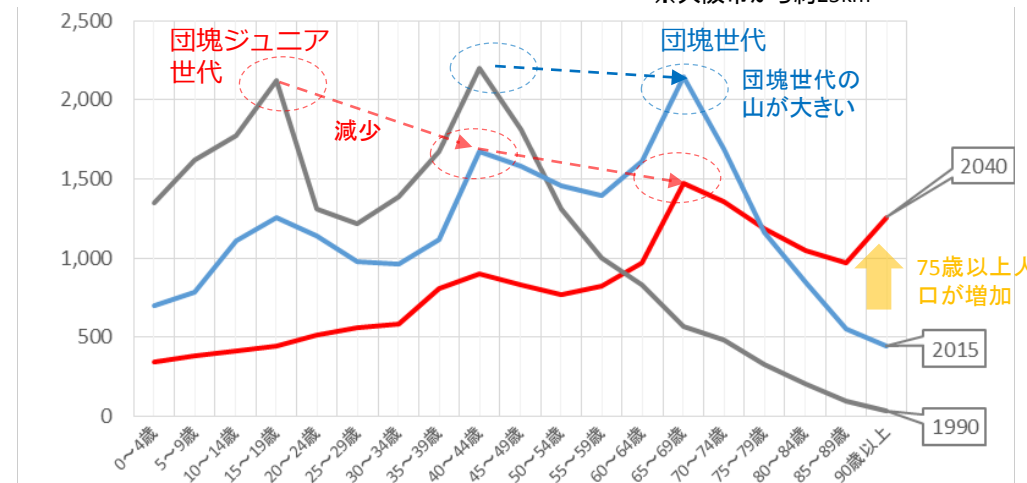
埼玉県G町の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))

※東京から約50km



奈良県H町の年齢別人口構成
(1990→2015→2040(推計))

※大阪市から約25km



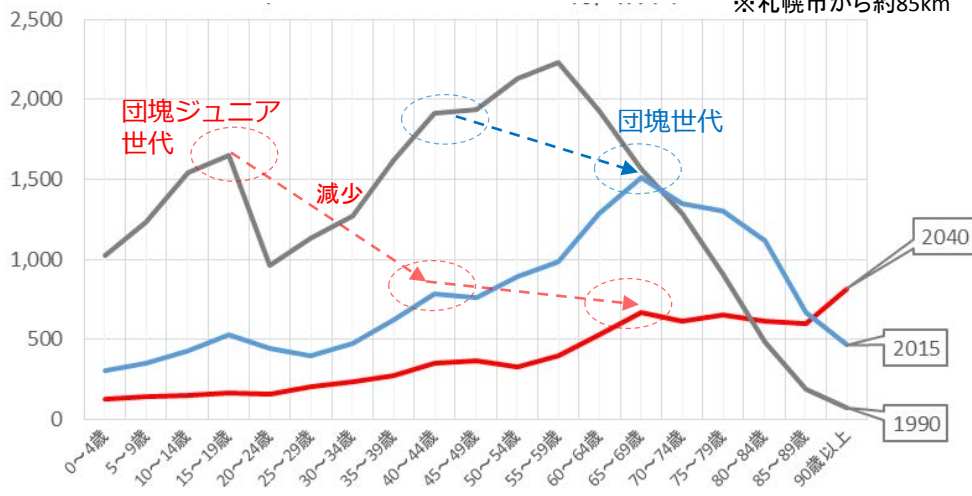
⑤ 15～74歳人口(▲50～▲75%)、75歳以上人口(▲25～▲50%)

- 人口1万人未満の団体がが多い(102団体中100団体)。流入人口により、人口構造や地域の状況は大きく変化する可能性。
- I市・J町では、増加してきた高齢者人口も大きく減少し、人口は半減。年少人口の割合は極めて小さくなり、75歳以上人口の割合が高くなる。 ※該当する団体の人口減少率:▲43～▲65% 0～14歳人口の割合(2040):3～11% 75歳以上人口の割合(2040):27～54%
- 更なる人口減少に伴う生活関連サービスの維持、小中学校における児童・生徒数の減少、高齢者への医療・介護サービスの提供(15～74歳人口の減少による専門職の確保等)、基幹的農業従事者の高齢化等が課題となるか。

I市	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	25,078	-	14,676	-	6,559	-	▲10,402	▲41.5	▲8,117	▲55.3
0-14歳	3,793	15.1	1,109	7.6	356	5.4	▲2,684	▲70.8	▲753	▲67.9
15-64歳	16,774	66.9	7,161	48.8	2,520	38.4	▲9,613	▲57.3	▲4,641	▲64.8
65歳以上	4,511	18.0	6,406	43.6	3,683	56.2	1,895	42.0	▲2,728	▲42.5
うち65-74歳	2,851	11.4	2,903	19.8	1,279	19.5	52	1.8	▲1,624	▲55.9
うち75歳以上	1,660	6.6	3,503	23.9	2,404	36.7	1,843	111.0	▲1,099	▲31.4
15-74歳	19,625	78.3	10,064	68.6	3,799	57.9	▲9,561	▲48.7	▲6,265	▲62.3

J町	1990		2015		2040		1990→2015増減		2015→2040増減	
	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(人口)	(構成比)	(実数)	(増減率)	(実数)	(増減率)
総人口	13,313	-	8,447	-	3,820	-	▲4,866	▲36.6	▲4,627	▲54.8
0-14歳	1,848	13.9	728	8.6	191	5.0	▲1,120	▲60.6	▲537	▲73.8
15-64歳	8,028	60.3	3,715	44.0	1,248	32.7	▲4,313	▲53.7	▲2,467	▲66.4
65歳以上	3,437	25.8	4,004	47.4	2,381	62.3	567	16.5	▲1,628	▲40.5
うち65-74歳	1,975	14.8	1,299	15.4	676	17.7	▲676	▲34.2	▲623	▲48.0
うち75歳以上	1,462	11.0	2,705	32.0	1,705	44.6	1,243	85.0	▲1,000	▲37.0
15-74歳	10,003	75.1	5,014	59.4	1,924	50.4	▲4,989	▲49.9	▲3,090	▲61.6

北海道I市の年齢別人口構成 (1990→2015→2040(推計)) ※札幌市から約85km



愛媛県J町の年齢別人口構成 (1990→2015→2040(推計)) ※県庁所在地から約20km

